



## 見たい! 知りたい! ブラウザーの向こう側

いつも何気なくインターネットを使っているけれど、ホームページの制作現場やインフラ関係の工事など、その舞台裏は意外と知られていないもの。このコーナーではあまり見る機会のない現場の様子を紹介します。

インターネットマガジン編集部  
photo: nakamura toru

今月の訪問先: シチズン時計株式会社  
時計工房 CREATION

URL <http://www.citizen.co.jp/watch/>  
問い合わせ先: TEL 03-5950-4140  
E-mail: watch@citizen.co.jp



製作用CD-ROMの画面。ホームページから申し込み可能。

# インターネットの 仕事場 探訪

## 職人の技が光る 手作りのオリジナル腕時計

シチズン 時計工房 CREATION

### 自分だけのオリジナル腕時計を作ってくれる「時計工房 CREATION」

たえず身に付けている第二の服...腕時計。熱烈なコレクターがいるように、もっとも愛着を持てる小物の1つだろう。

実は、インターネットを使ってオリジナルの腕時計が作れるのをご存じだろうか。時計メーカーであるシチズンが96年10月から始めたサービス「時計工房 CREATION」がそれだ。

自分の好きな写真やイラストをフロッピーに入れて郵送すると、その画像を時計の文字盤に印刷して世界に1つしかないオリジナル腕時計を作ってくれる。この画像は自分で用意してもいいし、時計工房専用のCD-ROM（ホームページから注文）にあるサンプル画像を使用してもOKだ。バンドや針のデザインも選べるというからすごい。いままでに2万本近くも注文があったという。

それにしても、このような商品は1つずつ手

で作らないと、細かい注文に応えられないはずだ。いまや完全に機械化された生産システムのなかで、「時計工房 CREATION」ではどのようにして手作りの腕時計を生産しているのだろうか。東京田無にあるシチズンの工場にうかがって、その製作現場を見せていただいた。

### 注文が多い画像は家族やペット

今回は工房内をまわりながら、担当の崎田英一さんと堀明浩さんにひととおりの作業の流れを教えてもらった。

まず、送られてきたフロッピーを開いて中に入っている画像を確認。画像ファイル形式が正しくなかったり、画像の修正が必要な場合は専門のスタッフがフォトショップで加工するそう。それでも修正できない場合は再度画像を送り直してもら。そのようなケースは全体の15パーセントになるそう。芸人とかアニメのキャラクターは肖像権、著作権、商

標権に触れるので不可。

「送られてくる画像で多いのは家族とペットの写真ですね。ペットで人気があるのはイヌとネコで、圧倒的にネコのほうが多いです。あと、マイカーとかマイギターとか、マイハウスっていう泣かせるものもありました。」(崎田さん)

こうして加工された画像はビクトログラフィーという出力機で写真のようなシートにプリントされ、円形にカットされる。これと金属でできたプレートとを張り合わせて文字盤ができるわけだ。

### 40~50ミクロンの精度が 要求される針付け作業

次は、その文字盤に針を載せる。これが一番技術を要するところだ。

長針は文字盤と50ミクロン(1ミクロンは1000分の1ミリ)短針は長針から30ミクロン離れたところに付けなければならない。この距離が近すぎると、針同士が重なって動かなくなってしまうそう。

「40~50ミクロンの精度で指先が動かないと針を付けられないんです。針を強くつまみすぎるとつぶれたり、傷が付いたりしちゃうんですよ(略)。ダイバータイプの時計に付ける針には蓄光塗料が塗ってあるので、その塗り



文字盤に取り付けたムーブメントを顕微鏡で見ているところ。

具合や塗料の厚みによって針の間隔を調節しなければならぬんです。この場合、図面どおりの間隔で付けると針が止まってしまうので、ちょっと持ち上げてぶつからないようにします。これはもう経験と勘にたよるところですね」(堀さん)

この針間隔の調節は熟練した人でないといけないそうです。注文の集中するクリスマスやバレンタインの時期には、定年退職した熟練工を呼んできて製作を手伝ってもらおうという。「全部同じ針を付けるのでしたら、自動的に付ける機械があるんですよ。でも、お客さんによって色や形が違ふし、組み合わせがいろいろあるので、機械で生産できないんです」(崎田さん)

### 受注から4~10日で完成

こうして針と中のムーブメントを付け終わったら、指定されたバンドを取り付ける。出荷前に24時間動かしてみて、針が止まったり時間が狂ったりしなければ、ケースに入れてできあがりだ。注文から4~10日で時計が届けられる。

現在「時計工房」では、注文の受け付けや画像の加工に6名、時計の組み立てに3名と、計9名のスタッフで作っているそうだ。

### 注文したほとんどの人が満足

こうして見ているだけでも、この時計がいかにかに手間と技術を必要とするものであるかということがよく分かると思う。

実際注文したほとんどの人が満足してくれるそうだ。返送されてきたアンケートはがきにはびっしりと感想が書き込まれ、モチーフにした家族やペットの話や自分の身の上話を書いてくる人もいたという。

ギフトとして注文する人よりも自分のために作るという人のほうが多いそうだ。

さて、ここまで読んだら、自分も1つ作ってみたいと思うはず。この号が出るころには第4回の注文受け付けが始まっている。今回の受け付け期間は12月8日まで。自分用に作るもよし、クリスマスのプレゼントにするもよし。まずはCD-ROMを取り寄せてチャレンジしてみても、

### オリジナル腕時計ができるまで



フロッピーで送られてきた画像を開いて確認。必要であれば画像の修正も。



画像をプリントしたシートと金属のプレートを手動プレスで張り合わせて文字盤を作る。



文字盤に針を付けているところ。これぞ究極の職人技。



バンドの種類はこんなにある。バンドの組み合わせだけでもいろいろできそう。



できあがった時計。スタンダードタイプ(右から2本目・6,500円)とスポーツタイプ(8,500円)があり、バンドやケースの種類によってオプション価格が追加される。下に見えるのは組み立てる前の文字盤の部分。

インターネットという最先端の技術を使う一方で、1本1本丁寧に時計を組み立てていらっしゃるスタッフの姿が印象的でした。





## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)